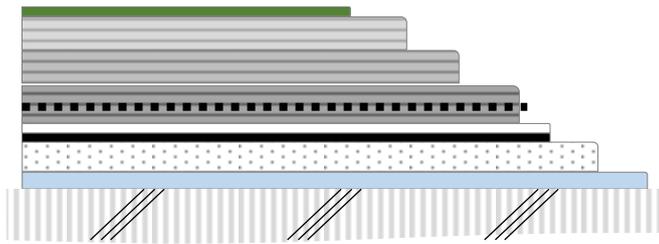


カナエハイボンドコート 標準施工仕様書

工法名：通気緩衝工法 HM-2K（非歩行用）

工 程	施 工 仕 様
1. 下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ レイタンス、油脂、塵埃などを充分に取り除く。 ・ クラック及び浮陸は補修すること。 ・ 下地の凸凹部は樹脂モルタルで平滑にする。
2. カナエシート貼り付け (通気緩衝シート)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①カナエシート用接着剤を原液のままローラー又は刷毛で均一に塗布。 ・ 直ちに、②カナエシートを貼り付ける。立ち上がり部分から5～10cm程度間隔をとり、途中歪み等が発生した場合は②カナエシートを切断し、再度修正して貼り付ける。 ・ 貼り付け後、②カナエシートを空ローラーで転圧し密着させる。 ・ ②カナエシートの外周部を変性シリコンシーリング材で押さえる。 ・ 立ち上がり面には、②カナエシートは貼り付けず、③補強用ハイボンドクロスを貼り付ける。 <p>*ハイボンドコート#300(液)/ハイボンドコートP(粉)/水=18/15/3～4により施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ②カナエシートと③補強用ハイボンドクロスのラップ幅は最低10cm確保する。 ・ ②カナエシートに切込みを入れて脱気筒を設置する。(約50㎡当たり1個) ・ ②カナエシート継目部には、③カナエテープを貼り付ける。
3. 下塗り (クロス貼り付け)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ④ハイボンドコート下塗りの調合。 (ハイボンドコート#300(液)/ハイボンドコートP(粉)/水=18/15/5～6) ・ 攪拌混合はハンドミキサー又はマーゼルで充分に行う。 ・ 混合した塗材の必要量の半分を下地にローラー及び刷毛で均一に塗布する。 ・ クロス及び不織布をのせ、残りの塗材をその上に流してローラー又は刷毛により押さえながら塗布する。 <p>≪塗布量 1.00 kg/㎡ 塗装間隔 3～4時間(20℃)≫</p>
4. 中塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⑤ハイボンドコート中塗りの調合。 (ハイボンドコート#300(液)/ハイボンドコートP(粉)/水=18/15/3～4) ・ 攪拌混合はハンドミキサー又はマーゼルで充分に行う。 ・ ローラー又は刷毛にて均一に塗布する。 <p>≪塗布量 1.00 kg/㎡ 塗装間隔 3～4時間(20℃)≫</p>
5. 上塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⑥ハイボンドコート上塗りの調合。 (ハイボンドコート#300(液)/ハイボンドコートP(粉)/水=18/15/3～4) ・ 攪拌混合はハンドミキサー又はマーゼルで充分に行う。 ・ ローラー又は刷毛にて均一に塗布する。 <p>≪塗布量 1.00 kg/㎡ 塗装間隔 3～4時間(20℃)≫</p>
6. トップコート (ケートップライナーCSK)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⑦ケートップライナーCSKをローラー又は刷毛にて均一に塗布する。 <p>≪塗布量 0.15 kg/㎡ 養生 24時間以上(20℃)≫</p>

[施工図]



- ⑦ ケートップライナーCSK (0.15 kg/m²)
- ⑥ ハイボンドコート上塗り (1.00 kg/m²)
- ⑤ ハイボンドコート中塗り (1.00 kg/m²)
- ④ ハイボンドコート下塗り (1.00 kg/m²)
- ③ 補強用ハイボンドクロス + カナエテープ
- ② カナエシート (通気緩衝シート)
- ① カナエシート用接着剤 (0.30 kg/m²)